

将来の自立を目指して 卒業後の生活を豊かに

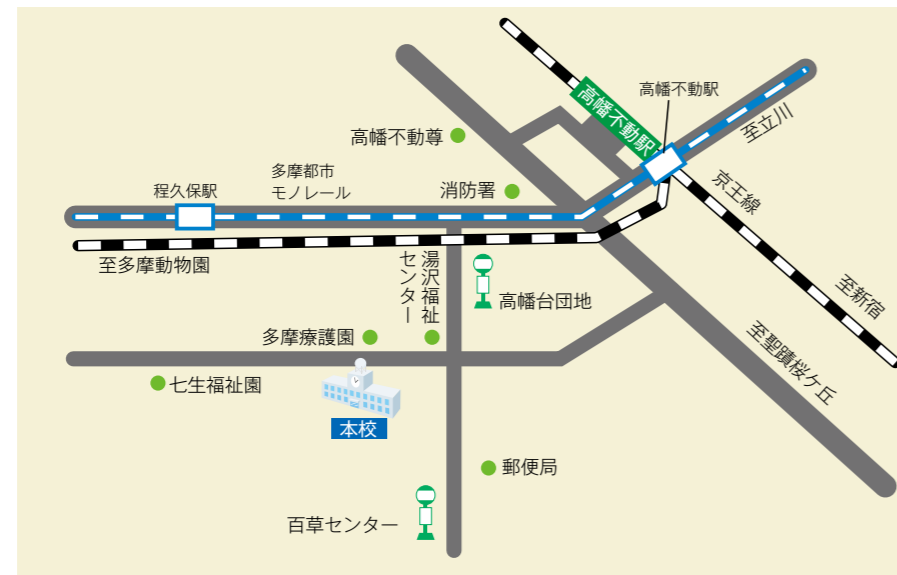
「東京都七生福祉園」の提携校であり、半数の生徒が七生福祉園より通学しています

本校の特色

「清掃検定」や「パソコン検定」などの各種検定へ生徒が積極的にチャレンジしています

商工会などの地域関係機関との連携による就業と移行支援に取り組んでいます

日野市1市のみを学区域とした学校であり、「地域に根ざした学校」づくりに取り組んでいます

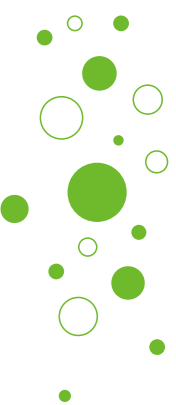


京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」にて降車後、京王電鉄バス①番のりばより、「帝京大学構内」・「聖蹟桜ヶ丘駅」・「百草団地」行きバスにて二つ目の停留所「高幡台団地」にて降車後、湯沢福祉センター方面へ歩いて頂くと右手に見えてきます。(バス停より徒歩5分)



東京都立七生特別支援学校
進路指導部

〒191-0042 東京都日野市程久保 843 番地
電話 042-591-1095 FAX 042-593-5537
HP <http://www.nanao-sh.metro.tokyo.jp>



自分自身について理解を深め、
主体的に進路を決定する力を養う

進路指導の柱

1 進路学習

授業「職業」の中で将来の生活を意識した学習を行います。

- 進路先見学（1・2・3年生）
- 雇用や給料等、各種制度の学習
- 障害について
- 社会人としてのマナー
- 法律や相談について 他

2 進路実習

企業や福祉事業所にご協力頂いて、実際に働く体験を通して学習を行います。

- 作業集中週間等
- インターンシップ（短期：1・2年生）
- 現場実習（長期：2・3年生）

3 進路相談

保護者会や個人面談等を通して卒業後の生活について考え、進路先について本人、保護者とともに確認していきます。

卒業時には支援機関の方とともに「個別移行支援会議」を実施します。

1年生

自分について知る。
働くことや自分の将来に関心を持つ。

- 短期インターンシップ（2日間程度）

2年生

進路に関する知識や関心を高め、自分の進路について考える。

- 短期インターンシップ（2日間程度）
- 長期現場実習（2週間程度）

3年生

自分の進路を主体的に決定する。

- 長期現場実習（2～3週間程度）
- 時期：6月～7月
10月～11月
1月～3月

近年の卒業生の主な進路先

※その他、多数の企業・福祉事業所様にインターンシップ等の御協力を頂いています。

職種	会社名	職務内容
事務補助	MU ビジネスパートナー(株)	PC入力、書類の照合
	多摩ドライビングスクール	PCによるデータ入力等
	(株)ベネッセビジネスメイト	メール仕分け・清掃
製造	(株)クレア	そばの製造、箱詰め、清掃
	(株)日野ロジスパック	部品の梱包
物流	(株)三省堂流通センター	棚卸し、本のピッキング
	(株)キューソーエルプラン中日本	ダンボールの組立て等
調理周辺業務	中央大学生活協同組合	大学食堂の調理補助等
	グリーンホスピタリティフードサービス(株)	企業内食堂での調理補助等
	元気寿司(株)、(株)コスジャパン、(株)サイゼリア	店舗での調理補助、食器洗浄
	(株)すかいらーく、(株)テンコーポレーション	
清掃	社会福祉法人陸月会「わかばの家」	施設内清掃
	オリンパスサポートメイト(株)、(株)富士電機フロンティア	社内清掃
	日野ハーモニー(株)	社員寮・内勤作業
	(株)ニチケアバレス	老人ホーム内清掃
	東電ハミングワーク(株)	施設内清掃、園芸
小売販売周辺業務	(株)いなげやウイング	鮮魚コーナー、品出し
	(株)スーパーアルプス	袋詰め、品出し
	(株)京王ストア	
福祉	光の家	受注作業、レストラン業務補助
	あおとり日野、工房夢ふうせん、つばさ	パン製造、受注作業等
	すずかけの家、はくちょう	受注作業、公園清掃等
	れんげ	調理補助、配食サービス業務

インターンシップ・現場実習へのご協力をお願いします

インターンシップでは、2日間の業務体験を通して、働く現場の雰囲気を感ずるとともに、自分の適性や可能性を考える機会としています。

現場実習では、約2週間働くことを体験して、卒業後の進路先決定に結びつける機会としています。

- 生徒はインターンシップ保険に加入しています。
- 教育活動の一環として実施していますので、報酬や交通費などは頂きません。
- インターンシップ・現場実習の実施においては、進路指導担当教員が受け入れ等について細かい相談をさせていただきます。

就労後における支援体制

- 卒業前に「個別の教育支援計画」を元にした、『個別移行支援会議』を行い、支援のネットワークを作ります。
- 卒業後は、地域の就労支援センターやハローワーク、相談支援事業所等と連携して、就労生活を支援していきます。
- 学校も支援機関の一つとして、電話や来校時に相談を受けたりします。また同窓会や月1回（夜間開催）「しゃべり場」を開催し、卒業生を支援していきます。

本人を中心にスムーズな移行と連携による就労・生活支援の充実

